

大阪経済記者クラブ・名古屋経済記者クラブ・横浜経済記者クラブ 会員各位
 (※経済団体記者会の皆様にもご案内しています。)

大阪・関西万博、アジア・アジアパラ競技大会、GREEN×EXPO 2027の機運醸成に向けて 大阪・名古屋・横浜の3商工会議所が包括連携協定を締結

【お問合せ】大阪商工会議所 地域振興部 (石橋、本、玉川)
 TEL: 06-6944-6323
 名古屋商工会議所 総務管理部 (浅井、坂東)
 TEL: 052-223-5606
 横浜商工会議所 総務部 (女鹿、高崎)
 TEL: 045-671-7403

大阪商工会議所 (大商)、名古屋商工会議所 (名商)、横浜商工会議所 (横商) は9月18日、包括連携協定を締結し、日本商工会議所・小林健会頭の立ち合いのもと、鳥井信吾大商会頭、嶋尾正名商会頭、上野孝横商会頭による調印式を行った。包括連携協定では、2025年日本国際博覧会 (大阪・関西万博)、2026年第20回アジア競技大会・第5回アジアパラ競技大会 (アジア・アジアパラ競技大会)、2027年国際園芸博覧会 (GREEN×EXPO 2027) の開催を通じた日本の持続的な成長に貢献するため、開催地商工会議所が相互に連携・協力して、これら国際的イベントの情報発信や来場促進等に取り組むことで、機運醸成に寄与することを目指す。

- まずは、大阪・関西万博 (2025年4月13日～10月13日) の機運醸成に向け、名商、横商の会報誌、SNS等を活用して、会員企業等へ万博情報を発信する。また、大商が関西商工会議所連合会の加盟商工会議所と実施する「関西周遊NFTスタンプラリー」(公益社団法人2025年日本国際博覧会協会の「EXPO 2025 デジタルウォレット」活用) に名商、横商を特別招待し、名古屋、横浜の観光施設等にも二次元コードを設置することで、大阪・関西万博への関心を高め、来場促進につなげる。
- 大阪・関西万博の会期中は、大商が国内外から受け入れる視察団にアジア・アジアパラ競技大会、GREEN×EXPO 2027のPR資料やツールを配布する。
- アジア・アジアパラ競技大会 (2026年9月19日～10月4日、10月18日～24日)、GREEN×EXPO 2027 (2027年3月19日～9月26日) についても、開幕の半年前から、開催地以外の商工会議所でも会員企業等への情報発信や来場促進に取り組み、機運醸成に寄与する。

<大阪・名古屋・横浜の商工会議所概要>

	大阪商工会議所	名古屋商工会議所	横浜商工会議所
設立	1878年8月27日	1881年3月28日	1880年4月13日
所在地	大阪府中央区	名古屋市中区	横浜市中区
会員数	約30,000	約17,000	約12,000
代表者	会頭 鳥井 信吾 サントリーホールディングス(株) 代表取締役副会長	会頭 嶋尾 正 大同特殊鋼(株) 相談役	会頭 上野 孝 上野トランステック(株) 代表取締役会長 CEO

以上

<添付資料>

資料1：包括連携協定

資料2：包括連携協定に基づく連携事業 (案)

資料3：2025年日本国際博覧会、2026年第20回アジア競技大会・第5回アジアパラ競技大会、2027年国際園芸博覧会の開催概要

**2025年日本国際博覧会、
2026年第20回アジア競技大会・第5回アジアパラ競技大会、
2027年国際園芸博覧会の機運醸成に向けた包括連携協定**

大阪商工会議所、名古屋商工会議所、横浜商工会議所（以下「3者」という。）は、2025年日本国際博覧会（以下「大阪・関西万博」という。）、2026年第20回アジア競技大会・第5回アジアパラ競技大会（以下「アジア・アジアパラ競技大会」という。）、2027年国際園芸博覧会（以下「GREEN×EXPO 2027」という。）と連続して開催される国際的イベントを通じた日本の持続的な成長に貢献するため、連携・協力して、これらイベントの成功に向けた機運醸成に取り組むことに合意し、次のとおり協定を締結する。

（連携項目）

第1条 3者は、次の各号に掲げる項目について互いに連携して取り組むものとする。

- (1)大阪・関西万博の情報発信や来場促進
- (2)アジア・アジアパラ競技大会の情報発信や来場促進
- (3)GREEN×EXPO 2027 の情報発信や来場促進
- (4)その他、これら国際的イベントの機運醸成に向けて必要な事項

（協議事項）

第2条 3者は、前条に定める連携項目の具体的な内容及び実施方法、その他必要な事項について、その都度協議し定めるものとする。

（協定期間）

第3条 この協定の有効期間は、締結の日から GREEN×EXPO 2027 閉会の日迄とする。

（その他）

第4条 この協定に定めのない事項及びこの協定に定める事項に関し疑議等が生じた場合は、3者が協議して定めるものとする。

この協定の証として、本書を3通作成し、3者が署名のうえ、各自その1通を保有する。

2024年9月18日

署名

署名

署名

大阪商工会議所

名古屋商工会議所

横浜商工会議所

会頭 鳥井 信吾

会頭 嶋尾 正

会頭 上野 孝

2025年日本国際博覧会、
2026年第20回アジア競技大会・第5回アジアパラ競技大会、
2027年国際園芸博覧会の機運醸成に向けた包括連携協定に基づく連携事業（案）

(1) 2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）の情報発信や来場促進

- ・名古屋／横浜の商工会議所における各種会議、会報誌、ホームページ、SNS、会館等での大阪・関西万博の情報発信
- ・愛知県／神奈川県商工会議所連合会、東海／関東商工会議所連合会における上記取り組みの展開支援

(2) 2026年第20回アジア競技大会・第5回アジアパラ競技大会（アジア・アジアパラ競技大会）の情報発信や来場促進

- ・大阪商工会議所が国内外から受け入れる大阪・関西万博視察団へのアジア・アジアパラ競技大会の情報発信
- ・大阪／横浜の商工会議所における各種会議、会報誌、ホームページ、SNS、会館等でのアジア・アジアパラ競技大会の情報の発信
- ・大阪府／神奈川県商工会議所連合会、関西／関東商工会議所連合会における上記取り組みの展開支援

(3) 2027年国際園芸博覧会（GREEN×EXPO 2027）の情報発信や来場促進

- ・大阪商工会議所が国内外から受け入れる大阪・関西万博視察団へのGREEN×EXPO 2027の情報発信
- ・大阪／名古屋の商工会議所における各種会議、会報誌、ホームページ、SNS、会館等でのGREEN×EXPO 2027の情報発信
- ・大阪府／愛知県商工会議所連合会、関西／東海商工会議所連合会における上記取り組みの展開支援

(4) その他、これら国際的イベントの機運醸成に向けて必要な事項

- ・関西商工会議所連合会が実施する「関西周遊NFTスタンプラリー」への名古屋・横浜商工会議所の特別参加

2024年度			2025年度			2026年度			2027年度					
7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月
9/18 連携協定締結			大阪・関西万博 4/13-10/13					アジア・ アジアパラ競 技大会 9/19-10/4 10/18-24			GREEN×EXPO 2027 3/19-9/26			
← 名古屋・横浜での大阪・関西万博のPR →			← 万博来場者へのアジア・ アジアパラ競技大会、 GREEN×EXPO 2027のPR →			← 大阪・横浜でのアジア・ アジアパラ競技大会のPR →			← 大阪・名古屋での GREEN×EXPO 2027のPR →			← 大会来場者への GREEN×EXPO 2027のPR →		

<連携事業イメージ>

商工会議所の各種会議、会報誌、ホームページ、SNS、会館等での情報発信



関西商工会議所連合会が実施する「関西周遊NFTスタンプラリー」への名古屋・横浜商工会議所の特別参加

- ・ 関西2府5県の71商工会議所で構成する関西商工会議所連合会では、公益社団法人2025年日本国際博覧会協会と連携し、公式デジタルウォレットであるEXPO 2025デジタルウォレットを活用した「関西周遊NFTスタンプラリー」を実施中。
- ・ このスタンプラリーは、万博の機運を醸成するとともに、関西の魅力ある観光施設等への周遊を促し、関西の広域観光を促進することが目的。現在、関西の15会議所が参加している。
- ・ このスタンプラリーに、名古屋、横浜の商工会議所も特別参加することで、関西以外の地域における万博の機運醸成につなげる。



①観光スポット等の画像が入ったNFTの作成

②観光スポット等に二次元コードを設置

③参加者はEXPOデジタルウォレットをダウンロードのうえ、二次元コードを読み取りNFT獲得

2025年日本国際博覧会、2026年第20回アジア競技大会・第5回アジアパラ競技大会、
2027年国際園芸博覧会の開催概要

	2025年日本国際博覧会 (大阪・関西万博)	2026年第20回アジア 競技大会・第5回アジアパラ 競技大会	2027年国際園芸博覧会 (GREEN×EXPO 2027)
期間	2025年4月13日(日) ～10月13日(月)	2026年9月19日(土) ～10月4日(日) / 2026年10月18日(日) ～10月24日(土)	2027年3月19日(金) ～9月26日(日)
会場	大阪市此花江区 夢洲(ゆめしま)	<メイン会場> 名古屋市瑞穂区 瑞穂公園陸上競技場	横浜市 旧上瀬谷通信施設
テーマ /スローガン	いのち輝く 未来社会のデザイン	IMAGINE ONE ASIA ここで、ひとつに。 / IMAGINE ONE HEART こころを、ひとつに。	幸せを創る明日の風景
来場者予測	2,820万人	選手団(選手・チーム役員) 最大1万5,000人 / 最大4,000人	1,500万人 (有料来場者数:1,000万人以上)
経済波及効果	約2兆9,000億円	1兆9,395億円	7,310億円